

## 4. 科目別シラバス

<b>科目名</b>	ライフサイエンス	<b>単位数</b> (年間予定コマ数)	1 (32)	<b>学年</b>	2
<b>教科書</b>	現代高等保健体育 (大修館書店)	<b>副教材</b>	現代高等保健体育ノート (大修館書店)		
<b>科目の概要</b>	<p>生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成するため、生活習慣の乱れやストレスなどが健康に影響することを中心に学ぶ。</p> <p>① 生涯を通じる健康 ② 社会生活と健康</p>				
<b>科目の到達目標</b>	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				
<b>授業の進め方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と学習ノートを使用して、講義形式で行う。視聴覚教室でビデオ学習する場合がある。</li> <li>・授業の流れは、教科書を読み、テーマに基づき板書していく形で進める。</li> <li>・各テーマにプリントを用い、考える力も身につける。</li> <li>・定期考査は、前期中間・前期期末考査を2回実施する。</li> </ul>				
<b>評価規準</b>	<b>観点別</b>	意欲・関心・態度	思考・判断	知識・理解	
	<b>評価の観点</b>	・健康の保持増進に必要な事柄について関心を持ち、個人および集団の課題解決に向けて意欲的に学習に取り組もうとしているか。	・健康の保持増進に必要な事柄について課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断しているか。	・健康の保持増進に必要な事柄について課題解決に立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	
	<b>比重</b>	10%	10%	80%	
	<b>評価方法</b>	・工夫したノート作成ができてきているかを評価します。 ・課題に対するまとめの仕方を評価します。	・授業中の発問に対する対応を評価します。 ・各項目での研究課題に対する情報収集や予習について評価します。	・原則的に定期考査の中で「知識・理解」に関わる問題を出題する。	
<b>授業を受けるにあたっての留意点など</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記目標を達成するためには、健康・安全に留意し、自ら積極的に授業に参加することが大切である。</li> <li>・学習内容をより深めるためには、日常的な社会事象についてニュースや新聞などで情報を集め、健康・安全に関することに興味・関心を高めるとともに、個人および集団の課題を解決する方法を見つけ出すことが求められる。</li> <li>・1単位なので、欠席には十分気をつけること。</li> </ul>				
<b>家庭学習</b>	各単元で取り上げられる保健にかかわる諸問題について、常日頃から関心をもつとともにテレビ・新聞・雑誌・インターネット等で情報収集する習慣を養う。				
<b>備考</b>					

単元名と単元の内容	配当時数	学習内容・学習のポイント	到達目標（評価の観点）
第2単元 生涯を通じる健康 <b>【生涯の各段階における健康】</b> 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的取り組み	10	「生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理および環境づくりを行う必要があることを中心に学習する。」	「生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることについて理解できるようにする。」
<b>【保健・医療制度および地域の保健・医療機関】</b> 8 保険制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策	6	「保健・医療の制度および地域の保健・医療機関を適切に活用すること、我が国や世界では様々な保健活動や対策が行われていることなどを中心に学習する。」	「我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。」
前期期末考査	1		
第3単元 社会生活と健康 <b>【環境と健康】</b> 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策	5	「自然環境の汚染が社会生活における健康に影響を及ぼすこともあること、その防止には汚染の防止および改善の対策をとる必要があることなどを中心に学習する。」	「人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすこともあること、それらを防ぐには汚染の防止および改善の対策をとる必要があることについて理解できるようにする。」
<b>【環境と食品の保健】</b> 4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち	5	「環境と食品を健康に適したものにすることや安全が確保できるように環境衛生活動や食品衛生活動が行われていることなどを中心に学習する。」	「環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること、また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われることについて理解できるようにする。」
<b>【労働と健康】</b> 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	4	「労働における作業環境などの変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた健康管理および安全管理をすることが必要であることなどを中心に学習する。」	「労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえ、適切な健康管理および安全管理をする必要があることについて理解できるようにする。」
後期期末考査	1		
	合計32		